

区政を聞く 代表質問 (要旨)

自由民主党議員団

持続可能な安定した
財政運営の構築を

当初予算案及び今後の財政運営

問 予算規模が増大する要因について、
これらを支える財源はどのように対
応したか伺う。

答 金町駅周辺の市街地再開発事業など
の街づくり事業費、東金町小学校や
本田中学校の新校舎建設工事の経費、
待機児童対策としての私立保育所の
建設や運営費助成などにより、過去
最大の予算案になった。これらの要
因に対応する財源は、国・都補助金
などの特定財源の確保はもとより、
まちづくり基金や教育施設整備積立
基金などの特定目的基金から繰り入
れを行うとともに、特別区債を発行
していく。さらに財政調整基金から
繰り入れを行うなど、財政対応力を
最大限活用した。

※他の質問項目 財政対応力強化の取
り組み など

契約制度

問 元請事業者が公共工事を受注し、下
請業者との関係の中で施工しやすい
環境をさらに推進するために、今後
どのような対策を講じるのか、区の
見解を伺う。

答 元請け下請けの業者間の関係につい
ては、建設業法や労働基準法・最低
賃金法などの関係法令の順守を掲げ、
法令などに基づいた指導・助言など
を行っている。今後は引き続き事業

かつしか区民連合

積極的な行政改革と新金貨物線
旅客化実現への取り組みを

令和2年度当初予算案及び
今後の財政運営のあり方

者が受注しやすい環境整備を図ると
ともに関係法令の改正なども踏まえ、
より良い労働環境の確立と労働の対
価を含めた賃金が確実に履行され、
業者間において良好な関係が継続で
きるよう、公共工事の適正な執行を
確保する方策として、公契約条例の
制定について積極的に検討していく。
※他の質問項目 受注業者確保の対策
など

総合庁舎の建て替え

問 駅前に移転する庁舎機能について、
改めて再検証すべきと考えますが、区
の見解を伺う。



葛飾区総合庁舎

答 新庁舎整備事業は、街づくりの観点
から立石駅前の再開発事業と連携を
取りながら、地域全体としてにぎわ
いを広げ、街の発展につなげていく
ことが必要である。また、単に今の
区役所の機能を移すというだけでな
く、今後設立される市街地再開発組

について、見解を伺う。

答 区は、感染症法にのっとり入院勧告
によって感染者を隔離し、接触者調
査を行い濃厚接触者には14日間の健
康観察をお願いする。現段階ではイ
ベントの一律中止ではなく、個別に
内容変更、縮小、実施の可否を判断

合で議論される内容などをくみ取り
ながら、駅前で提供すべき行政サ
ービスについて検討していくことは大
変重要である。庁舎機能については、
利便性の高い庁舎を基本としながら、
少子高齢化や今後のICTの進展な
どの社会状況の変化も踏まえ、状況
に応じた見直しを検討していく。
※他の質問項目 現庁舎・敷地の活用
方針

区が保有する資産の有効活用

問 従来の用途を終えた土地や施設の情
報を全庁で集約し、優先順位や公共
施設以外での活用も含めた検討を進
めるべきと思うが、区の見解を伺う。
答 資産の新たな活用の可能性を全庁で
共有し、全庁横断的に活用ニーズを
調査した上で、区の施策上の優先順
位や地域の状況などに鑑み、活用方
法を検討していく。特に、施設の老
朽化などにより継続が難しい場合は、
取り壊して空き地となった土地の民
間への貸し付けや売却など、公共施
設以外での活用方法についても検討
していく。今後は公共施設の再編や
複合化が一層進展していくことを踏
まえ、より有効な活用を図っていく。
※他の質問項目 道路・公園等の更新
や維持管理効率化の取り組み など

スポーツの振興

問 スタジアム整備について、区の現状
での見解を伺う。

答 漫画「キャプテン翼」の作者、高橋
陽一氏が代表を務める南葛SCのJ
リーグ加盟には試合の戦績等のほか、

問 新金貨物線旅客化の実現は、国や都
の理解や協力が不可欠であるが、今
後どのような協議が必要か伺う。

答 国道6号との平面交差など課題解決
に向けて関係機関と協議しながら検
討している。法的な位置付けや事業
性の向上など課題の解決を図り、事

規定に応じたスタジアムの整備が必
要となる。スタジアム建設には、検
討に多くの時間と高額の整備費用が
見込まれる。現在、国内にある既存
スタジアムの立地や運営状況、収支
状況などの調査と、区に設置する場
合のコストや収支などの想定を調査
さらに、「キャプテン翼」キャラク
ターを活用した経済効果の検討を進
めている。こうした調査結果も踏ま
えて、具体的な検討を進めていく。
※他の質問項目 「見る」応援する」
の観点を重視した整備 など

葛飾区議会公明党

子育てしやすい街、葛飾の実現と
ゼロエミッションかつしか宣言

令和2年度当初予算案

問 過去最大規模の予算案となる令和2
年度当初予算の特徴的な施策は何か、
区長の見解を伺う。

答 「子育てするなら葛飾で」を念頭に、
子育て環境の充実や教育環境の充実、
最近の災害から区民の関心が高まっ
ている災害対応力の強化、駅周辺の
開発事業をはじめとする活力あるま
ちづくりの推進、東京2020オリ
ンピック・パラリンピック競技大会
を見据えた取り組みなど区民ニーズ
にきめ細かく対応する予算とした。
施策を着実に進めていくため、効果
的・効率的に予算を配分し、住んで
いてよかった、住んでみたいと思え
る夢と誇りあるふるさと葛飾の実現
に向けて、積極的に取り組んでいく。
※他の質問項目 区有建築物保全工
事計画 など

日本共産党葛飾区議会議員団

増税、新型コロナウイルス対応へ
くらしと中小企業支援の強化を

問 来年度予算案概要では、経済は緩や
区長の経済認識

葛飾区基本計画

問 次の10年の具体的な計画として、区
は何を最重要課題として位置付け策
定していくのか、見解を伺う。

答 今後、本区が将来にわたって地域の
活力を維持し繁栄していくためには、
年齢構成のバランスを取りながら人
口総数の維持・増加を図るとともに、
成長と成熟とが調和した持続可能な
まちづくりを進めていくことが必要
であり、最重要課題であると考え
る。
※他の質問項目 財政フレーム など

災害対策の強化と気候変動

問 来年度の水害対策の取り組みをどの
ように進めていくのか伺う。

答 各種防災訓練では、台風19号を被害
想定とした災害対策本部や避難所開
設訓練を中心に実施する。さらに、
学校避難所へは、今年度から緊急医
療防護所となる避難所に配備してい
るゴムボートを順次配備する。また
要配慮者の避難者を受け入れる福祉
施設には、エアマットの配備や、人
工呼吸器などの電源確保を目的に非
常用蓄電池の配備を行っていく。
問 地域における災害対応力の一層の強
化について見解を伺う。

答 避難所を開設する場合の初動対応と
して必要な行動を学校施設ごとに合
わせた写真等を利用して分かりやす
く示したアクションカードを作成し、
学校施設をよく知らない方でも迅速
な対応ができるよう整備を進める。
さらに、訓練は震災想定と水害想定
を分けて実施し、災害時要配慮者へ
の対応も含め、内容の充実を図る。
問 「ゼロエミッションかつしか」を
実現するため、2030年度までの温
室効果ガスの削減目標をさらに引き

問 本区におけるキャリア教育の取り組
みについて伺う。
答 小学校、保田しおさい学校および中
学校で、当番活動やボランティア活
動等の中で、自分の役割を果たすこ
とを通してキャリア教育を推進する
とともに、全ての区立中学校2年生
を対象に、区内の官公庁や民間事業
者などの協力を得て、5日間の職場
体験を実施している。
※他の質問項目 キャリア・パスポ
ーの取り組み など

日本共産党葛飾区議会議員団

中小企業が多く存在する本区でも同
じ状況にあると推測している。今後
も国や都の報告等を注視しつつ、区
内中小企業や区民の話の伺いながら
さらなる支援策を展開していく。

問 立石駅南口東地区の都市計画決定



クリーンなエネルギーの太陽光発電パネル

上げるべきと思うが、見解を伺う。

答 令和2年度に改定に着手する葛飾区
環境基本計画と葛飾区地球温暖化対
策実行計画の中で、ゼロエミッシ
ョンかつしかを実現するためのロード
マップを作成するとともに、203
0年度までの温室効果ガスの削減目
標28%についても大きく引き上げ、
地球温暖化対策に資する環境施策を
総合的に推し進めていく。
※他の質問項目 区の災害対応 など

問 本区におけるキャリア教育の取り組
みについて伺う。
答 小学校、保田しおさい学校および中
学校で、当番活動やボランティア活
動等の中で、自分の役割を果たすこ
とを通してキャリア教育を推進する
とともに、全ての区立中学校2年生
を対象に、区内の官公庁や民間事業
者などの協力を得て、5日間の職場
体験を実施している。
※他の質問項目 キャリア・パスポ
ーの取り組み など

問 本区、区職員がやるべきことがコン
サルタント任せになっていることが
目立つ。コンサルタント依存の区政
運営を見直すべきと思うがどうか。
答 区では、コンサルタント事業者が持
つ知識等により効果的に事業を進め
られると判断した場合に活用してき

問財政調整基金の取り崩しだけでなく、区長を先頭に行革などの推進を積極的に図るべきと考えるがどうか。

答今後大幅な歳入増が期待できない中、区民サービスを維持、発展させるために安定した財政運営を行えるよう経営改革の取り組みを強化する。

※他の質問項目 予算編成の取り組み方針 など

新型コロナウイルスへの対応

問区への取り組みを積極的に情報発信する必要があると考えるが見解を伺う。

答危機管理対策本部会議で決定した内容を適宜ホームページに掲載し、積極的に情報発信している。今後もしっかりと正確な情報をさまざまな情報発信ツールにより適宜発信し、区民の不安を和らげる。

問感染者が出た場合、区として今後どのような対応を取るのか段階での考えを伺う。また、イベントなどの開催の可否を区として判断すること

区政を聞く 一般質問(要旨)

自由民主党議員団

障害者に寄り添ったユニバーサルデザインの推進を

誰でも暮らしやすい街づくり

問基本構想の中にユニバーサルデザインをどう位置付けるのか伺う。

答基本構想にユニバーサルデザインのまちづくりを位置付け、行政、区民、事業者が価値観を共有し福祉分野のみならず多面的な取り組みを進める。
※他の質問項目 誰でも使いやすい道路・公園への工夫 など

障害者の地域生活支援と就労支援

問精神障害者の長期入院解消に向けて、今後どう取り組みを進めるのか伺う。
答退院に向けた支援策を総合的・一体的に進め、精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築に取り組み

していく。今後、国や東京都から示されるイベント開催についての方針等を注視し、感染の状況を踏まえた適切な対応を引き続き検討する。



マスクをして業務を行う職員

※他の質問項目 本区の総合的な対策都市計画マスタープランと新金貨物線旅客化

4面まで続きます

※他の質問項目 障害者の雇用促進など

子育て支援
問産後ケア事業が始まったが宿泊ケアの実施は2施設にとどまる。新しい葛飾赤十字産院へ設置してはどうか。さらなる充実への取り組みを伺う。

答葛飾赤十字産院での宿泊ケアの実施に向けた話し合いを始めた。加えて、新たに区外施設1カ所との話し合いが進んでいる。
※他の質問項目 産婦歯科健診 など

亀有の観光事業

問亀有地域にこち亀観光の拠点となる施設の整備を進めてほしいがどうか。
答観光客を迎える観光施設として、適地となる候補地の検討を継続し、施設整備の実現に向けて取り組む。
※他の質問項目 観光資源活用

業化に向けて積極的に取り組む。
※他の質問項目 街づくりにもたらす効果 など

葛飾区教育振興基本計画

問学童保育クラブの申請・受け入れ状況の予測などを伺う。定数の拡充、サマーチャレンジなど、この課題に対応する区への取り組みと今後の具体的な対策、将来の方向性を伺う。

答学童保育クラブの申請は年々増加傾向にある。未設置の小学校への整備放課後に使用していない諸室の活用など受け入れ人数の拡大、夏季休業日に学校施設を活用するサマーチャレンジの試行などに取り組んでいる。引き続き学校内学童保育クラブの受け入れ拡大、わくわくチャレンジ広場の充実を図り、安全・安心に放課後等を過ごせる環境整備に取り組む。
※他の質問項目 学力・体力向上に向けた取り組み など

かな回復が期待されるとしているが、そんなことはない。昨年の増税以降の区民生活をどう認識しているのか。



商店街の様子

問今年2月の国の月例経済報告によると、国内の景気は緩やかに回復しているが、先行きについては新型コロナウイルス感染症が内外経済に与える影響に強い警戒感を示しており、

問都市計画決定は時期尚早だったのではないか。
答本計画に対する権利者の合意状況を踏まえ、都市計画審議会に諮った上で決定したものであり、適切な時期の決定であると認識している。

ただちにやるべき暮らし応援策

問国民健康保険料の子ども均等割保険料を免除すべきではないか。
答子育て世帯の負担軽減のため、特別区長会は、全国市長会を通じて、国に対して子どもに係る均等割保険料を軽減する支援制度創設を、また、都に対して保険料の軽減を講じることを要望している。一方、昨年2月の参議院本会議で安倍首相は国と地方の協議の場で引き続き議論する考えを示した。区として、引き続き要請を進め、国や都の動きを注視していく。

※他の質問項目 法外援護事業 など
自治体のあり方

た。一方、区の方針に関わる部分は区が決定し、官民の役割を明確に分け区民サービスのさらなる向上を図ってきた。今後もこうした観点から、コンサルタント会社を活用していく。

新基本構想

問SDGsの理念を基本計画の一つの理念に位置付けると表明したが、そうでなければ、新基本構想は作る必要がないと思うがどうか。
答真に豊かな地域社会を構築していくため、新基本構想の理念に「持続的な発展」を掲げ、これを踏まえ新基本計画でもSDGsが目指す社会・経済・環境のバランスの良い発展を図っていく方向で検討している。新たな時代認識等を踏まえ基本構想を見直し、新基本計画を策定していく。

他の質問項目 新基本計画等、水害時の広域避難

問この時期に、新たな基本構想策定作業に着手されている理由を伺う。
答現在の基本構想が20年、30年程度を見据えて策定されたものであることを踏まえ、この間の社会、経済状況の大きな変化、新たな時代認識や社会状況の変化を踏まえた新たな基本構想と基本計画を策定していく必要がある。あらゆる世代が住み続けたと思える明日の葛飾の創造に向け、区民との協働により、新たな基本構想と基本計画を策定していく。

※他の質問項目 環境行動推進 など

防災・減災対策

問期間を定め備蓄品、災害時対応資器材、防災活動拠点の機能、避難施設の不具合箇所等の総点検を実施するべき。また、後期実施計画の受援業務別訓練の実施状況について伺う。
答学校内の備蓄倉庫の在庫状況の確認を行い、資器材の稼働確認も順番に実施している。防災活動拠点は月1回防災設備等の点検訓練を行い不都

葛飾区議会公明党

避難所総点検と有効な水害対策生き生きと過ごす健康長寿社会
基本構想・基本計画の策定

夏休みにおける子どもの見守り

農地保全
問特定生産緑地への移行に向け、どのような取り組みを進めるのかを伺う。
答広報媒体などで制度の周知に努め、農業委員会やJA東京スマイルと連携し、本制度を知らない農業者を一人もつけない活動を引き続き行う。
※他の質問項目 農地面積推移 など



配布予定の「SDGsかつしかピンバッジ」

答各種研修を活用し、職員全体へ理解

合があれば早期に修繕し機能を維持している。受援業務別訓練は被災証明書発行訓練を実施している。

問 浸水被害を防ぐための止水対策の大切さを区民に改めて周知し、有効な手立ての一つである止水装置の設置を促すために止水板装置の設置助成制度の導入を求める。また、福祉避難所などへの止水板の早期配備も必要と思うが、区の考えを伺う。



台風19号に備え土のうをつくる職員

答 浸水防止として土のうや水のう、止水板は有効な対策であり、現在区内25カ所に土のうステーションを設置し、区民がいつでも自由に取っ出せるようにしている。また、区ホームページ等で水のうの作り方を紹介しており、今後は止水板の設置についても周知をしていく。止水板の設置助成および配備については、他自治体の運用状況等を参考に検討する。

※他の質問項目 避難所運営 など

児童相談所・一時保護所の設置

問 どのような検討・議論がなされ本区が設置を希望することになったのか、その理由を伺う。

答 本区は児童虐待防止を大きな課題と認識し、児童相談所の設置を都および国に働きかけを行ってきた。平成28年6月に児童福祉法が改正され特別区でも設置可能となったことを直接の契機として本格的な検討を開始した。子供たちの未来と生活を守り、最善の利益を確保することが児童相談所を必要とする大きな理由である。

健康寿命延伸のための取り組み

問 健康寿命の延伸をどのように捉えているか。また、東京都内の他の自治体と比較しての本区の現状を伺う。

答 健康寿命を葛飾区実施計画や健康実現プランにおける施策の成果指標と位置付け、誰もが住み慣れた地域で健康で生き生きと暮らし続けるために、健康寿命の延伸を目標としてさまざまな取り組みを進めている。平成29年において本区の健康寿命は、男性は80・56歳で23区中17番目、女性は82・51歳で23区中15番目の状況で、最近はこの順位で推移している。

※他の質問項目 糖尿病治療放置者と治療中断者への受診勧奨 など

かつしか区民連合

危機管理対策の充実・強化
地域交通は地域との協働で充実に

危機管理対策の充実・強化

問 危機管理部門に自衛官OBの採用を検討してはどうか、区の見解を伺う。

答 災害対応に経験のある人材の推薦、採用時期などについて自衛隊と調整を進めており、組織全体の危機管理能力向上につなげたいと考えている。

問 要配慮者の搬送支援に係る地域の協議会を設置し、災害対策本部と連携を取る仕組みが必要だが見解を伺う。

答 介護サービス事業者や民生委員・児童委員からも意見を聞き、情報共有や移動支援などの連携体制について、関係部署と協力し検討する。

※他の質問項目 妊産婦・乳児救護所設置の取り組み状況 など

京成本線荒川橋梁の水害対策

問 当面の対応策を具体的にどのように考え、今後の豪雨災害等の備えとして取り組むのか伺う。

答 国土交通省、京成電鉄、足立区と荒川橋梁部の堤防対策に特化した協議会を設立し、検討を進め、毎年、出水期前の5月に行われる水防訓練などを活用して具体的な対策を講じる。



橋梁架け替えまでの必要な対策

※他の質問項目 区と区民との平時からの情報共有 など

地域交通との協働

問 高齢者の移動に配慮した公共交通の充実にどのように図っていくか伺う。

答 循環バス導入などの検討を進めている。今後も高齢者を含む区内を移動する方々の利便性向上につながるバス交通の充実に取り組む。

問 公共交通利用困難地域など課題を持つ地域においては、勉強会や視察等の実施を含め、区の協働事業として取り組むことを求めるが見解を伺う。

答 今後も先進事例を研究するとともに、地域の要望を丁寧に聞いた上で、関係部署と連携を図りながら支援を検討し、地域との協働により取り組む。

※他の質問項目 高齢者支援の観点からの配慮・仕組み など

日本共産党葛飾区議会議員団

置するよう指示した。区としては、協議会を今年度内に設立し、架け替えまで当面の対策を講じていく。

※他の質問項目 区民への防災ラジオの配布 など

若者対策
問 中学生卒業時の進路未確定や高校中退対策として、具体的にはどのような支援策を行っているのか。

答 葛飾区版ネウボラ事業の取り組みの一つとして、昨年10月から、対象者に高校生世代も含む、かつしか子ども応援事業のモデル実施をしている。さまざまな事例を検証しながら、支援を必要とする子どもにつながる仕組みづくりが現時点での課題と考えている。今後は関係機関等とも連携し、効果的な支援方法を模索していく。

子育て支援施設の整備方針の全面見直し

問 なぜ三季休業中に学童保育クラブ待機者の多いところでわくわくチャレンジ広場を新たに実施するのか。

答 今後先進事例を研究するとともに、地域の要望を丁寧に聞いた上で、関係部署と連携を図りながら支援を検討し、地域との協働により取り組む。

※他の質問項目 高年齢者支援の観点からの配慮・仕組み など

京成本線荒川橋梁の早期着工を学童保育クラブの待機児解消こそ

水害対策

問 京成本線荒川橋梁について、早期着工のために国や京成電鉄に対し、さらさらどのような働きかけを行うのか。

答 去る1月16日に国土交通大臣に対し、江東5区長と共に改めて橋梁架け替え事業の早期実現と地域の水防活動への支援を要望した。一方、橋梁架け替えには時間を要するため、国、京成電鉄等と共に、荒川橋梁部の堤防対策に特化し検討する協議会を設



わくわくチャレンジ広場の外遊び

颯新かつしか

学校給食の質の確保と児童の安全への対策を

放課後子ども支援事業・登下校メール

問 わくわくチャレンジ広場を初めて民間委託で行うが、しっかりと検証する必要があると思うがどうか。



わくわくチャレンジ広場の様子

答 職員による確認、事業者等からの聞き取り、保護者や児童へのアンケート調査により検証する。

問 新たな学童保育クラブの設置や定員拡大の予定はないのか。

答 江東・白鳥小学校に整備するほか学校改築に合わせ計画的に整備する。

問 足立区は令和4年度までに全ての小学校で登下校メールを導入する。本区でも児童の入退室管理システムを導入すべきと思うがどうか。

答 メール配信システム導入校での活用状況の検証を継続し、費用対効果や利便性などから、どのような登下校時等の安全対策が有効か検討する。

※他の質問項目 金町駅周辺地区の区営自転車駐車場、学校給食

公文書の取り扱いなど
問 災害対策本部会議の議事録として公開された資料は、会議録として体を成していると考えているのか。

答 会議録に記載する事項は示されており、要件を満たすものと考えている。

※他の質問項目 電子文書化 など
他の質問項目 予算編成と新基本構想・新基本計画、子育て・教育、新型コロナウイルス対策

無所属 (※5)

指定管理者施設の労働環境改善と再開発への支援の在り方見直しを
公契約条例

問 公契約条例を制定すべきと考えるがどうか。

答 条例については、労働関係団体からの要望もあり趣旨は十分理解しているが、区内中小零細企業に与える負担も大きいことから慎重な検討が必要である。今後は広く関係団体の意見を聞きながら検討していく。

※他の質問項目 労働環境モニタリング実施結果等の公表 など

駅前再開発事業

問 駅前再開発ビル内の保留床を区が取得し、再開発事業が成り立つ仕組みは、区財政の負担増を与える。見直すべきと考えるがどうか。



金町六丁目駅前再開発の工事現場

答 安全で安心な街づくりなど公益に資する再開発事業については、国の交付金等を活用し適切な支援を実施している。補助金交付や保留床取得が負担増につながることは考えていない。

※他の質問項目 ミッカへの負担金
他の質問項目 香害、羽田空港増便に伴うルート変更